

大阪 保険医新聞

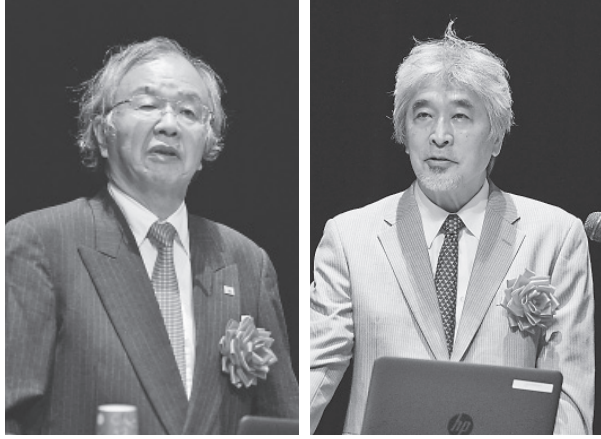
大阪府歯科保険医協会 会
 発行人 和田 武
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-hok.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可

第8回日常診療経験交流会

250人が活発に意見交換

5分科会38演題 会員らが報告

開業医の経験や研究について交流し、診療に役立てようと、医科・歯科協会は11日、第8回日常診療経験交流会「そのとき医療者は、感染症と災害にどう向き合うか」を大阪市中央区のドーンセンターで開き、WEBと合わせて250人が参加した。医科と歯科で5つの分科会と山極壽一氏(総合地球環境学研究所所長/京都大学前総長)、河田恵昭氏(関西大学特別任命教授/社会安全研究所センター長)の両記念講演があった。



講演する河田氏(左)と山極氏(右) =11日、ドーンセンター

医科・歯科協会の共催は4年ぶり、5つの分科会では会員・スタッフから全38演題の発表があった。歯科からは「日常診療における工夫と実践」で7演題、「新型コロナウイルス等感染症対応・発達障害診療・HPVワクチン」で1演題の発表があり、部分床義歯の調整法が閉会あいさつした。

河田氏は「大阪の災害を考えると医療機関はどう備えるか」と題して講演。社会に防災力がある日本では、災害による被害は物の状態が変わる「相転移」と「複合災害」が原因と指摘。東日本大震災で被害が拡大したのは、「想定外」の津波が原因ではなく、津波警報が出れば避難するも踏まえた災害対策が医療機関にも必須だと強調した。

山極氏 「社会の豊かさ再考」

コロナ研究で知られる山極氏は「感染症とこれから期待される未来社会」と題して講演した。山極氏は、熱帯雨林の開発が進むことでウィルスと共存してきた野生動物と人や家畜が接触し、パンデミックを起こしたと指摘。資本主義社会での格差の拡大や、地球環境の破壊とコロナ禍の今、社会の豊かさとは何かを考える必要があると

提起した。新型コロナウイルスによって「移動する、集まる、対話する」という文化活動の重要性が明らかになった」と強調した上で、現代を人も物も動く「遊動の時代」と指摘。動くことを基本とした世界観として、「所有から共有、シェアとコモンズを拡大する時代だ」と思う。医療など公共財を増やすことにより助け合う社会にしよう」と語った。

河田氏 「長期被害の想定を」

河田氏は「大阪の災害を考えると医療機関はどう備えるか」と題して講演。社会に防災力がある日本では、災害による被害は物の状態が変わる「相転移」と「複合災害」が原因と指摘。東日本大震災で被害が拡大したのは、「想定外」の津波が原因ではなく、津波警報が出れば避難するも踏まえた災害対策が医療機関にも必須だと強調した。

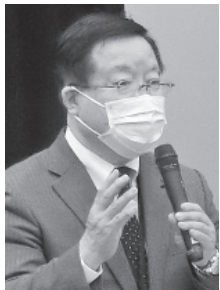
2021総選挙



私の論点③

菅政権は75歳以上の窓口負担の2倍化法を先の国会で成立させた。2倍化実施の阻止へ運動を強める「日本高齢期運動連絡会」の武市和彦事務局長に寄稿してもらった。

日本高齢期運動連絡会事務局長 武市和彦



75歳医療費窓口負担2割化法は、コロナ禍で高齢者の受診控えが進んでいる中、必要な医療を受けられなくなることを前提にした負担増は高齢者のいのち・健康・人権への侵害です。法律の問題点は次の通りです。

窓口負担2倍化は中止に

① 受診控えによる健康悪化を前提にした法律

政府は「必要な医療を受けられなくなることはない」としていますが、今回の法律での公費負担削減額は980億円。さらに、1割から2割負担になる人の負担額アップによる医療給付費削減は1050億円を見込んでいます。これは、いわゆる「長瀬効果」による受診控えがおこること前提にした数字です。政府

② 2割負担の根拠なく、対象は「政令で定める」

政府は今回の法律で1割負担が1315万人となり、2割負担導入後も全体の約7割が1割負担なので、「大部分の方が1割負担」という認識(田村厚労大臣)とし、原則1割という現在の法案主旨は変えることはないとい

写真で見る 協会創立50周年

1991年 「いま生きるフェスティバル」



人間らしく生きる社会の実現を願い、9月29日に「いま生きるフェスティバル」を開いた。医科30周年、歯科・協同組合20周年を記念した企画。府民や医療従事者ら2700人が集い、桂文珍氏の講演やオーケストラの演奏、合唱を楽しんだ。

「第21回共済加入者のつどい」中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症が蔓延している下、医科・歯科協会は、9月4日に開催を予定しておりましたが「第21回共済加入者のつどい」を昨年に続き中止することといたしました。つどいの準備期間を含めると7月中旬の開催可否の判断が必要となり、この間の両協会の共済部会や役員会議の議論でも「開催困難」との意見が大勢を占めており、つどい会場が回避すべき3条件(密閉・密集・密接)の重なる場であることも踏まえ、加入者の皆様の安全を最優先に確保するために、極めて遺憾ではありますが中止を決定いたしました。

例年、開催を心待ちにいただいていた皆様には誠に申し訳ございません。ご理解・ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。大阪府保険医協会・大阪府歯科保険医協会

「自分は大丈夫」「被害は及ばないだろう」。災害時に被害を拡大する原因の一つに、「正常性バイアス」がある。予期しない事態に直面した時、都合よく解釈してリスクを過小評価する心理状態を指す。豪雨が相次ぐ昨今、躊躇なく避難できるよう自らを戒めたい。

お知らせ

次号8月5日付は同15日付と合併し、8月15日付として発行します。協会は8月13~16日まで夏季休務となります。

大阪市内では三大水門の耐震性不足や地下街の水没対策の遅れに加え、湾岸部でのIRカジノ誘致や万博が計画されている。住民・来場者の命と安全を守るのか。行政に「正常性バイアス」は許されない。(Y)